

旭川東高PTAだより 第13号



発行日：平成29年10月31日  
発 行：北海道旭川東高等学校 PTA  
編 集：PTA 広報委員会



「シマレガンバレ」  
北海道旭川東高等学校校標語





## TonCafe前日準備



第68回

# 東高祭

7月7日、生活委員会の皆さんでTonCafeの前日準備が行われました。殺風景な教室が、手際よく飾り付けられ、見る見るうちにしゃれなカフェに変わりました。福居製餡製造の看板メニュー「東どら」（どんどら）には、「しゅまり餡」「抹茶餡」「日向夏餡」の3種類があり、今年は1400個を準備しました。毎年午前中には完売してしまうほどの人気です。

## 東高祭PTA喫茶 「TonCafe」



7月8日、9日の2日間、3階講義室で開かれていた「TonCafe」。普段の教室から、カントリー調のおしゃれな空間に様変わりした教室がひとときの憩いの場となっていました。

たくさんのお客さんに笑顔で対応していたのは生活委員会を初めとするPTA役員の方々です。

こちらのオススメは校章の焼き印が入った名物「東どら」。来年の参考までに、東どらは午後の時間帯になると好みの味が売り切れてしまうこともあるので比較的空いている午前10時30分頃までに購入するのが良さそうですよ！

## クラス展示の審査



原

「普段は見られない子ども達の熱心な姿が見られたのがよかったです。ストーリー性を持たせ、お客様を楽しませようとする気持ちに感動しました。」（田島）

「知性と個性を感じる展示の内容に審査しながらとても楽しませていました。短い準備期間にもかかわらず完成度の高さに驚かされました。」（渡川）

### 審査員より

東高祭の開催に伴い、各クラスでそれぞれ腕の見せ所となるクラス展示が開催されました。毎年各クラス対抗で審査され、後夜祭で表彰されます。審査員は教職員とPTAで構成され、PTAから田島会長、石原副会長、渡川会計の3名がクラス展示審査員として担当されました。



# 旭川医大

旭川医大のオープンキャンパスが8月2日・3日に開催されました。1日目は高校3年生対象・2日目が高校1・2年生対象でした。2日目の医学科のオープンキャンパスは、道内外から約140名と保護者や高校の教員で盛況でした。

まず資料一式をいただき、旭川医大の吉田学長から、旭川医大が目指す方向性などについての説明を受けました。地域医療からグローバルな医療へ、それは医療過疎の地域に居住していても、生活を変えずに世界の最先端医療を受けられるようにしたいとの意向でした。また「学びの場」としての環境整備に尽力されていることは、最先端のシミュレーションセンターや新築された図書館を見ても納得できました。内科外科の准教授のそれぞれの専門分野のお話を具体的で興味深い内容でした。このような話を実際に聞くことは、高校生にとって適性や目標を明確にすることにも助けになると思いました。

学生が入学センター専任坂本教授の模擬講義を受けている間に、保護者は納付金などの説明を受けました。親としては一番気になるお金の話ですが、入学金や授業料・諸費用などの出費に関わることだけでなく、減免制度や各種奨学金についても詳しく案内がありました。医学部ならではの奨学金の中には、旭川医大独自のものや北海道が主体になっているもの、市町村独自のものもありました。

お昼休憩の際には、学生食堂の人気メニュー「タコライス・お茶付420円」をいただきました。売店の方々が一人ひとりの学生に「頑張つてね」と声をかけてくださっており、案内してくださいました。職員の方々や在校生の方々も含め、大学全体で歓迎してくださっている事を感じました。

最後に学生数人のグループを在校生が引率して、学内を案内してくれました。東高のOG、医学科1年の板谷さんが勉強やAO受験時のアドバイスなど、親切に対応してくださいました。

オープンキャンパスに実際に行ってみると、書類だけではわからぬ立地や大学の雰囲気や熱意といったことを体感する機会となり、とても有意義でした。



# オープンキャンパスをレポート!!

憧れのキャンパスライフをイメージして…

## 質疑応答

(一部抜粋)

Q面接時の質問内容と返答は?

A女性医師として働くにあたり体力に自信があるか聞かれ、部活経験を生かして自信があると答えた。

Q卒業後国家試験に合格しても会社に就職する人はいるか?

A国家試験不合格で他の道に進む人はいるが、合格した人は殆どが医師か研究者になる。

Q将来どんな医者になりたいか?

A人間味を忘れない医者。PC画面ばかり見て事実のみを述べて終わるのではなく、感情とか人間味を重視したい。

A医師から見ると患者さんは大勢いるが、患者さんから見ると医師は1人なので、1人1人の患者さんに寄り添える医師になりたい。

## 北大医学部



外、道外在住の方々が約三分の一ずつの人数で、高校生のみでなく、すでに社会人として働いている方もいました。プログラムは、DVDによる学内の紹介のあと学内の見学、現役学生との質疑応答でした。学内見学は事前申し込みをした高校生限定六十名が病院の見学、その他の方々は法医学CTと解剖室、電子顕微鏡室、組織病理学実習室と、このような機会でなければ入ることができないであろう場所の見学をしてきました。

質疑応答では、参加者からの率直な疑問、質問に学生の方々も経験を生かした返答をされていました。実際に大学構内を散策し、現役学生の経験談を聞くことで、参加者も大学生となつた自分の姿をイメージすることができますが出来たのではないかと感じました。



8月7日、北大医学部医学科のオープンキャンパスに行つて来ました。大学構内はとにかく広い! 学生は移動に自転車を使用し、構内を循環バスが通つているなど、ひとつの町のようでした。大学自体の場所がわかつても、大学の構内で目的の建物に辿り着けない、建物内に入つて教室がわからないなど迷つてばかり。受験の際に慌てないよう、前日下見の重要性を改めて体感しました。土地勘の無い道外の大学はなおさらですよね。

今回の参加者は、札幌市内、札幌市外、道外在住の方々が約三分の一ずつの人数で、高校生のみでなく、すでに社会人として働いている方もいました。大学構内は循環バスが通つているなど、ひとつの町のようでした。大学自体の場所がわかつても、大学の構内で目的の建物に辿り着けない、建物内に入つて教室がわからないなど迷つてばかり。受験の際に慌てないよう、前日下見の重要性を改めて体感しました。土地勘の無い道外の大学はなおさらですよね。

今回の参加者は、札幌市内、札幌市外、道外在住の方々が約三分の一ずつの人数で、高校生のみでなく、すでに社会人として働いている方もいました。大学構内は循環バスが通つているなど、ひとつの町のようでした。大学自体の場所がわかつても、大学の構内で目的の建物に辿り着けない、建物内に入つて教室がわからないなど迷つてばかり。受験の際に慌てないよう、前日下見の重要性を改めて体感しました。土地勘の無い道外の大学はなおさらですよね。

第4回となる今年の「情報共有の夕べ」は、前半は卒業生保護者の杉浦美佳さんによる講演、後半は座談会形式で情報交換を行いました。

杉浦さんの講演はお子さんとの関わりと、大学受験時のエピソードでした。

後半は十名ほどの人数で1・2年生、3年のグループに分かれ、卒業生保護者、先生を交え日頃の勉強や時間の使い方、受験における準備などの情報を共有しました。経験者からは体験談や気をつけた方がいいことを、先生からは受験生の学校での姿や学校としての取り組みなどを教わりました。



## 大学受験のための高校生活Q&A

### ここは押さえておきたい

Q：志望校を決めたのはいつ頃ですか？

A：出願まで志望校は変えられる。3年生になると模試に志望校を書かなければならないがその度に変えるのは自由。いつまでに決めるということではなく、なりたい自分になるにはどこの大に行けばいいかと考える。なりたいことが決まっている子、夢がある場合はお子さんの夢を壊さないでほしい。

親はお子さんが判断するための情報を知つておく。必要な時にいつでも伝えられるようにする。

Q：文理選択について

A：理系についても文系は受けられる。

1年生のうちはまだ何が得意か分かっていないことが多い、目標が決まっていなくても仕方がない。得意科目で選ぶべき。就職の時はどこの企業にもどこの学部を出ていても入れるので、お子さんの能力をより伸ばせるところを選ぶ。

Q：高校に入つてからは思うように勉強の時間が取れないようだ。

A：1年生は夏休みが過ぎた頃から学校生活に慣れ、時間の使い方が分かるようになってくる。全てを100%完璧にするのは難しいので、その時にやることの優先順位をつけるクセをつけ、時間の使い方を意識するようにする。部活をしている子は更に時間の使い方は限られるが、学校生活を楽しむことが大切であり、最後まで頑張ることで人間的にも成長できる。

Q：子どもが反抗期でコミュニケーションが取れない。

A：反抗期は正常な成長の証です。その子にはまだ心の伸びしがあると考え見守ってください。親の言うことを聞かせるのではなく、子どもの話をとにかく聞いてあげることが大切。先生には心を開いている場合もあるので先生を通して話を聞いてみるのもいいかもしれません。子どもは親の言のことは聞かないけど、親のしていることはよく見ていくものです。

### センター前の準備

一番不安なのは受験生本人。親も緊張のピークですが、試験当日でも出来る限りいつも通りに。特別なことは余計緊張します。親が不安がると子どもは更に動搖します。

受験当日の昼食には「おにぎり」「魚肉ソーセージ」がお薦め。「チョコレート」「はちみつレモン」なども空腹対策に。縁起を担いでトンカツという話も聞きますが脳の働きが悪くなり逆効果だそうです。

### 受験時の飛行機について

道外受験の場合、千歳よりも旭川空港の方が欠航のリスクが少ないのでお薦め。

### 受験時の宿泊について

受験時の宿泊予約は9月だともう遅い。後でもキャンセル可能なことが多いのでまずは予約を。自分で手配するのも良いが、旅行業者や受験先の大学生協で斡旋してもらうと、キャンセル料の発生を抑えられたり昼食手配をセットしてくれることも。当日の朝、コンビニで品切れということもあるので早めの準備が必要。

### 受験時に同伴すべき？

「親同伴 その子の希望に 合わせましょう」

受験について行くかどうかはその子次第。空港での不測の事態に対応出来るように、せめて空港まで一緒に行くのが安心。同伴しなくとも常に連絡の取れる体制は取りましょう。

### 受験前にどう接するか

「これで大丈夫？」はNGワード。現役生はスーパー・ポジティブ。東高生は一度スイッチが入つたら、出来る子の集まりなので結果は出せる。

### どうしても志望校に悩んだら

# 話すことが一番難しくて 一番の近道

卒業生保護者 杉浦美佳さん



本人は第一志望校一本での受験を希望しましたが、親が「あなたに浪人は似合わない」と志望校以外の申込書を書かせました。第一志望校以外の親の意向に沿う大学に合格はし、一旦は入学、大学生活を送ることになりました。

しかし数ヶ月後に「今の学校はいい大学、だけど自分が行きたかった学校ってどんなにいいだろう」という電話があり、第一志望校の再受験を薦めてくれた先生からも、「あの状態で、あの子を今の学校に行かせられなかった」と謝られ、本人がとても悩んでいたことを知りました。

結局は本人の意思を尊重し浪人生活のように勉強して、翌年第一志望だった大学を再受験。結果合格しました。

息子には夢があり、全力で向かおうとしているのを受験後しばらくしてから気づきました。親の思うような進路を取らせたことに、何てことをしたのだろうと反省をしました。

今は、よく親の思いをはねのけてくれたなと思っています。皆さんの前でこの話をすることを息子に伝えましたら「後輩には自分と同じ思いをして欲しくない」と言っていました。

皆さんへのお願いは、子どもの想いは分からないことも思い通りにならないこともあるけれど、とにかく話をし子どもの想いを聞くことです。ひとつずつ上手に話を聞くと、色んなことが見えてくるので進路への可能性が広げられます。これは親にしかできないことですから、ぜひ先生の協力も得て子どもの想いを一番に考えてあげてください。

## 参加者へのアンケート

今回の参加者へのアンケート集計の結果、9割以上の方々が、全体講演・座談会ともに「良かった」というご感想でした。また、次年度以降の参加希望については、1・2年生保護者のなんと「100%」の皆様が参加希望!来年はより多くのご参加をお待ちしております。

ご協力いただきました卒業生保護者の皆様、先方ありがとうございました。

第4回

# 「高校生活・受験を

受験前の準備は?  
気をつけることは?



志望大学はどう?  
親はどうしたら?

A: 3年生になると勉強が忙しくなるので1~2年生のうちからオープンキャンパスに行くと大学のイメージを持ちやすい。想像以上に情報がもらえるので可能なら行ったほうがいい。その際は志望の大学でなくともいいので気軽な気持ちで参加すると良い。人気の学部は定員になるのが早く間に合わないこともあるので早めに予約する。

Q: 高校生の親としてどう支えて行けば良いのか?

A: 子どもの思い描く夢や目標が、親からすれば「絶対に無理!」と思うような内容であっても絶対に否定せず、全力で応援してあげてください。例えば:「子どもが『宇宙飛行士になりたい』と言つたとします。その時に親が否定せず、全力で応援してあげれば、最終的に宇宙飛行士が無理でも宇宙に関わる他の仕事に就くことが出来るかもしれません。親の言いなりになつて、夢を諦め未練を残し後悔するよりも、間接的でも自分の目標とした職に関わる方が、新たな自分の役割や居場所を見つけることが出来ます。また、途中で子どもが行き詰まつたり迷つたりした時に、「宇宙に関わる仕事にはこんな道もあるよ。」と、アドバイス出来るくらいの知識は親として持つていたら良いと思う。子どもの進路を丸投げにしないで、親も共に感心を持ち、独自に調べ、共に悩み、共感することが私達が親としての役割です。

子どもが自ら決断を迫られるのが受験、  
その経験や悩んだ時間は決して無駄ではない。  
親は子どもを信じ寄り添うことが最高の支援。

札幌の予備校へ、札幌の寮・下宿などから通う子も、旭川から通う子もいる。下宿先の選定について、浪人生と大学生が混在するところは要注意。自宅浪人の子は東高で模試を受け、先生がフォローもしてくれる。担任だった先生が札幌の予備校へ訪問しサポートすることもある。

## 合格後の住まい

女の子の場合、学生会館はとても安心。仮予約が出来る場合もあるので人気のあるところは早めの連絡を入れる。伝手がない時は先生が紹介してくれます。

# 教職員とPTAの懇親会



5月16日、第1回各種委員会と、その後場所を花月会館に移して教職員とPTAの懇親会がありました。高体連の時期でしたが、校長先生をはじめ担当の先生方、委員の皆さんにたくさんご参加いただきました。活動テーマなどを決めた各種委員会では、活発に意見が交わされ、議事はスムーズに進行し、楽しい一年になりました。

その後の懇親会でおいしい料理を食べながらの歓談は、「委員をするのは初めてで…ドキドキ」という気持ちがちょっと残っている方がいたとしても、それを吹き飛ばし、なおかつ有意義な時間だったのではないでしょうか。今年度の東高PTA活動は、良いスタートを切ることができました。

5月16日、第1回各種委員会と、その後場所を花月会館に移して教職員とPTAの懇親会がありました。高体連の時期でしたが、校長先生をはじめ担当の先生方、委員の皆さんにたくさんご参加いただきました。活動テーマなどを決めた各種委員会では、活発に意見が交わされ、議事はスムーズに進行し、楽しい一年になりました。

## 定時制からの風



③7月14日 ALTキングさん来校  
8月25日 ALTサラさん来校



普段の英語の授業とは違つて、ネイティブの発音を聞くのは大変そうでした。理解しようと頑張っていました。

②7月12日 炊事遠足  
前日までの荒天が嘘のように晴れ、清々しい中で焼肉をしました。食後は神楽岡公園の自然散策も満喫しました。



①7月8日 東高祭（書道展示）  
今年度は、うちわや絵手紙等、バラエティに富んだ作品が展示され、また恒例の有志のイラスト展示も行いました。装飾にも工夫を凝らし来場者の目を惹いていました。

定時制のこれまでに行われた授業や行事の様子の一部を紹介します。

こうした様々な活動を通して少しでも前向きで充実した高校生活を送ってほしいと願っています。  
定時制の様子の詳細については、学校ホームページにも掲載していますので、ぜひアクセスしてご覧ください。



大会結果／寺本姫果 優秀賞  
4年生 佐藤碧さん



2年生 寺本姫果さん

④8月28日 交通安全講話  
今回は特に自転車の危険性について講話頂き、最後に生徒会長の岡部君が交通安全宣言をしました。



⑤9月15日 道北地区定時制生徒生活体験発表大会  
厳正な審査の結果、本校の代表として、4年生の佐藤碧さんと2年生の寺本姫果さんの作品が選ばれ出場しました。大会まで作品を練り直し、一生懸命練習し、部活動での人間関係の大さや、心機一転して定時制で頑張っている姿などを真摯に伝えてくれました。

# 平成29年度 教職員紹介

## 全日制課程

校長 岡田 聰(数学)  
教頭 中島淳夫(地歴・公民)

### 1学年

**原 徳之**  
1年1組担任  
①英語  
②教務  
③剣道

**大屋泰宏**  
1年2組担任  
①理科  
②教務  
③新聞・放送

**田熊俊治**  
1年3組担任★  
①地歴・公民  
②進路指導  
③剣道

**阿部輝之**  
1年4組担任  
①国語  
②進路指導  
③テニス

**吉田直哉**  
1年5組担任  
①数学  
②教務  
③クイズ研究・その他

**石尾浩一**  
1年6組担任  
①保健体育  
②生徒指導  
③サッカー

**鶴沼 尚**  
1年7組担任  
①国語  
②保健  
③美術・工芸

**近藤 誠**  
1年1組副担任  
①数学  
②総務  
③バドミントン

**千葉一彦**  
1年2組副担任  
①音楽  
②生徒指導  
③吹奏楽

**久末正樹**  
1年3組副担任  
①数学  
②生徒指導  
③音楽

**高子和雄**  
1年4組副担任  
①英語  
②★総務  
③将棋

**澤田大輝**  
1年5組副担任  
①英語  
②教務  
③山岳・その他

**大村勲夫**  
1年6組副担任  
①国語  
②★図書視聴覚  
③囲碁・写真

**高橋伸元**  
1年7組副担任  
①理科  
②進路指導  
③ハンドボール

**尾村晃治**  
1年学年付  
①地歴・公民  
②★教務  
③バドミントン

### 2学年

**藤井ア希子**  
2年1組担任  
①英語  
②保健  
③英語

**柴田朝幸**  
2年2組担任  
①国語  
②教務  
③バスケットボール

**梁川 耕**  
2年3組担任  
①英語  
②図書視聴覚  
③ダンス・漫画アニメ

**富田一茂**  
2年4組担任  
①理科  
②教務  
③化学・天文

**花尻健明**  
2年5組担任  
①数学  
②進路指導  
③ハンドボール

**小俣 太**  
2年6組担任  
①理科  
②生徒指導  
③山岳

**相田敬史**  
2年7組担任★  
①地歴・公民  
②進路指導  
③山岳

**佐藤俊之**  
2年1組副担任  
①数学  
②生徒指導  
③野球

**伊與田浩紀**  
2年2組副担任  
①理科  
②総務  
③ラグビー・その他

**中山正幸**  
2年3組副担任  
①保健体育  
②生徒指導  
③陸上

**中川清文**  
2年4組副担任  
①保健体育  
②進路指導  
③バスケットボール

**南 賢治**  
2年5組副担任  
①英語  
②図書視聴覚  
③応援団・野球

**膳龜奈美枝**  
2年6組副担任  
①地歴・公民  
②保健  
③文芸

**高田 韶**  
2年7組副担任  
①数学  
②生徒指導  
③ソフトテニス

**村中典彰**  
2年学年付  
①地歴・公民  
②総務  
③写真・囲碁

**渥海道子**  
2年学年付  
①国語  
②総務  
③陸上

**山下 元**  
3年1組担任★  
①英語  
②進路指導  
③ラグビー

**小林英樹**  
3年2組担任  
①理科  
②総務  
③天文・化学

**野矢有希子**  
3年3組担任  
①保健体育  
②総務  
③ソフトテニス

**渡部真紀**  
3年4組担任  
①家庭  
②教務  
③茶華道

**堀江昌昭**  
3年5組担任  
①理科  
②進路指導  
③放送・コンピューター研究会

**廣瀬純一**  
3年6組担任  
①数学  
②進路指導  
③サッカー

**小倉貴彰**  
3年7組担任  
①地歴・公民  
②教務  
③野球

**仲俣 薫**  
3年1組副担任  
①国語・書道  
②進路指導  
③書道

**芳野里香**  
3年2組副担任  
①国語  
②生徒指導  
③弁論

**深山尚仙**  
3年3組副担任  
①理科  
②教務  
③テニス

**宮野俊二**  
3年4組副担任  
①数学  
②教務  
③卓球

**山根有希子**  
3年5組副担任  
①国語  
②図書視聴覚  
③卓球・文芸

**齊藤直治**  
3年6組副担任  
①英語  
②保健  
③音楽

**風上勝幸**  
3年7組副担任  
①保健体育  
②★生徒指導  
③バレーボール

**滝澤俊秀**  
3年学年付  
①英語  
②教務  
③吹奏楽

**蜂谷健吾**  
3年学年付  
①数学  
②生徒指導  
③バレーボール

**松井恵一**  
3年学年付  
①地歴・公民  
②★進路指導  
③バレーボール・軽音楽

**高松葉子**  
養護教諭  
②保健  
③軽音楽

**宮澤紀久子**  
養護教諭  
②保健  
③漫画アニメ

**里 知十世**  
実習助手  
①理科  
②総務

**定時制課程**  
教頭 小野寺典祥(英語)

**村上恵美子**  
1年担任  
①国語・書道  
②生徒指導  
③漫画研究

**藤村武司**  
2年担任  
①地歴・商業・情報  
②★進路指導・★保健  
③卓球

**近藤剛史**  
3年担任  
①数学  
②生徒指導  
③写真

**沓澤里美**  
4年担任  
①家庭  
②教務  
③新聞

**東 和彰**  
1年副担任  
①保健体育  
②★教務  
③バドミントン

**岡田則之**  
2・3年副担任  
①地歴・公民  
②教務  
③バドミントン

**井上 聰**  
4年副担任  
①理科  
②★生徒指導  
③理科

**吉田登紀**  
養護教諭  
②進路指導・保健  
③手話

**事務**  
事務長 馬橋 郁  
事務主任 後藤裕志  
主任主事 杉山英敏  
助安由紀子  
峰 雄斗

※★印は学年主任・部長  
氏名 クラス  
①教科  
②分掌  
③部活動・同好会  
1学年 2学年  
3学年 定時制  
事務室

# 高P連全国大会

家康ゆかりの地で「有徳の人」づくり  
現代に通じる戦国武将の子育てとは?

副会長 石原ひろみ

8月24・25日に静岡県で開催された全国高等学校PTA連合会大会の基調講演は、NHK大河ドラマの時代考証を何作も手がけた歴史学者・小和田哲男氏の「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」がテーマでした。

武将の子供達の教育は、今川義元や徳川家康を教育した雪斎禪師や井伊家の南渢瑞闇など主に僧侶がを行い、読み書きに加え哲学や教養、実践的な兵法まで教えていたそうです。武将たち自身も、戦や統治の体験談を「武辺話」として子どもや家臣に伝え、帝王教育を行いました。「名将とは大敗北を経験した人のことである。負けた経験がその後を作る」など、戦にも統治にも人生にも役立つことが伝えられたのです。

北条氏綱が息子に当たる遺言状は「人間にクズはない。その者の役に立つ所に召し抱えよ(適材適所)」等、長文の武辺話であり、乱世に5代100年続いた北条氏の礎となりました。当時は学校教育がなかった分生涯教育の意識が強く、大人になつてもこのような人の話をよく聞き深く考え、自分磨きを怠らなかつた人が戦国の世を生き抜いたのではないかということを、様々な武将の逸話を交えてお話しいただきました。

会場の静岡県では「有徳の人」～個人として自立し、人との関わり合いを大切にし、よりよい社会づくりのために行動する人づくりが勧められています。徳川家康ゆかりの地で、数百年前から現代に至る子育ての系譜を垣間見ることができます。

なお、会場にはこの「大空まどかに」が数ある全国のPTA広報誌の中から選ばれて展示されていました。日頃のPTA活動と広報が評価されたということなどで、たいへん名誉なことだと思います。改めて、PTA会員の皆様のご理解とご協力に感謝を申し上げます。



## 広報担当者の集い



## 高P連全道大会

監事 浅川美香

6月10・11日と全道高P連空知大会に参加させていただきました。1日の基調講演では「めぐりあいのふしき」の演題で、元ラジオパーソナリティで営業のプロデューサーなど幅広く活躍されております中村信仁様のお話を聞くことができました。人が人生で必ずやることは「生まれること」「生きること」「死ぬこと」の3つであり、中でも「生きること」は自分次第でどうにでもなるという事です。

また、人に与えたものは必ず自分に、あるいは子や孫に還つてくる。そして又、今ある自分も親や先祖の還つてきている徳に生きていることなど。中でもわかりやすかつた例とし「ちょっと損をする生き方」をす

いて時間がかからってしまうようなお年寄りの後に並び、舌打ちをせずゆったりと気分よく待つてあげられる。そんな風に生きること。得か損かではなく粹か野暮かで生きること。笑いや感動を交え、あつとう間の講演でした。

2日目は滝川・滝川西両校での分科会に参加し各校の様々なPTAの取り組みなどの意見交換をして改めて東高は充実したPTA活動をおこなっているんだなあと再確認致しました。これも会員の皆様のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。日帰りの2日間でしたがたくさん学びがありました。ありがとうございました。

6月23日「広報担当者の集い」が『魅せるPTA広報誌～レイアウト・見出しの作り方～』をテーマに旭川永嶺高等学校で開催されました。

近郊の高校の広報誌を持ち寄り良い点や改善点などを教えていただき、普段何気なく読んでいる印刷物も通じるノウハウが詰まつたとても為になるお話をでした。

特に印象に残ったポイントは誌面のセンターにインパクトのある写真をもつてするのが大切とのこと!また本文の内容をいかに見出しで伝えるか!というのも見出しありの力がになるようです。

次号予告

3月1日発刊予定

お楽しみに!

